

サクランボ特報

No. 1

令和6年3月1日
J A中野市営農センター
J A中野市サクランボ部会

2月から暖かな気温が続き、向こう1か月予報（気象庁）では気温がかなり高くなる予報が出ています。現時点では生育が平年よりも早まると予想されます。気象情報に十分注意し、生育状況をよく確認して早めの防除に努めましょう。また本年も、凍霜害が心配されますので、凍霜害対策を講じて下さい。

(平岡)

佐藤錦	平年	R6	R5	R4	R3	R2	R1
発芽日	4/3	3/30?	3/30	4/7	3/29	3/31	4/6

＊発芽前の防除 対象病害虫 カイガラムシ類（ハダニ類）

散布時期	・ 発芽前（3 月下旬）			
散布薬剤	水 98ℓ 当たり		散布日 月 日 散布量 ℓ	
	アプロードフロアブル	1 0 0 m ℓ		
	スプレーオイル	2 ℓ		
散布量	1 0 a 当たり 300 ℓ			
注意事項	①胴枯病対策として発芽前に、石灰硫黄合剤の 10 倍を単用散布する。 石灰硫黄合剤は、隣接する園地やハウスビニールにかからないように注意する。 ②胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な場合は削り取り、トップジン M ペーストを塗布する。			

＊コスカシバ対策 薬剤散布による防除を行なう場合は、下記のいずれかを実施する。

- ①発芽前に(調)ラビキラー乳剤200倍（発芽前、1回）を樹幹部および主枝に散布する。
- ②開花期までに、フェニックスフロアブルの500倍（開花期まで、1回）を樹幹部および主枝に散布する。（10a当り散布量目安5～200ℓ）

＊凍害対策

- ・3月中旬～下旬の花芽が膨らみ始めた頃から開花期まで、低温遭遇時（-3℃以下）の花器障害が心配されますので、園内の保温（燃焼資材の利用、加温設備のある園地では加温機の使用等）により対策を講じて下さい。
- ・防霜ファン設置園は、防霜ファンの稼働点検を早目に実施して下さい。

次回特報発行予定日：3月29日

内容：開花前の薬剤散布 他

問合先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）